

報道機関各位

令和5年 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

昨年は多くの皆様と迷いつつも、少しずつ前進ができた年でした。海水浴場の開設や花火大会も開催し、アフターコロナへ向かう道を歩いてきました。

県と町との合同の総合防災訓練「ビッグレスキューかながわ」も3年越しに町村では初の開催をすることができ、葉山町に様々な関係団体が集まりました。

小規模ながらタウンミーティングも再開し、町民の皆様と顔を合わせて対話する中で直接ご意見いただけたことで、行政だけでは出せない答えを導き出せるようにもなりました。本年もご意見をいただきながら、公共施設の再整備や葉山の町並みにそぐわない開発に対する協議など、しっかりと向き合い、決める責任を果たしてまいりたいと思います。

また、コロナ禍にあってもクリーンセンターの再整備や下水道の本管の最終敷設、葉山中学校のトイレ全面改修など、大きな事業は進めてまいりました。

物価高騰の影響は著しく、光熱費をはじめ、各所にその影響が表れています。これは公共施設のみならず、地域ひいては国全体の課題であり、一時的な対症療法では支えになりません。対策は国においてマクロに行われることを強く望んでいます。

また、国民健康保険については、町の療養給付費が抑制されても、被保険者数の減少と医療費の著しい高騰が、大きな地域の課題となっています。運営主体である神奈川県への支出金は抑制できません。保険料の抑制のため一般会計からの繰り入れを行いますが、保険運営の安定化のため県へ強く働きかけを行ってまいります。

本年からはようやく中学校給食を開始します。受益者負担の原則を守る一方で、保護者の皆様が安心してお子様の一食を任せられる、添加物などに配慮した葉山町ならではの給食を進めてまいります。

また、葉山町は環境配慮の優れた町として認知されています。今年は将来を担う子どもたちの声をいただきながら、フォーラムを開催して、環境配慮の町の声や行動を世界に伝える活動をし、地球環境保全のクリーンな町のさらなる高みを目指します。

令和7年1月の町制施行100周年記念に向けて、本年から来年の令和6年度にかけてさまざまな企画事業を皆さんとアイデアを出して取り組んでいきたいと思っています。まずは行政内部の意見、アイデアをまとめたものをたたき台として公表し、議会をはじめ、町民の皆様と企画し、できることは令和5年度内にも取り組みを開始します。これまでの葉山を知り、これからの葉山を考え、誇れるようなワクワクする機会にしていきたいです。

さらに、まだまだ検討段階ですが、町民の皆様の「健康と睡眠」をテーマに民間の研究機関や企業と連携を模索しています。健康な町・よく眠れる町の、効果的な取り組みを葉山発で進めてまいります。

皆様とともに、これからも大好きな葉山を創りつつ、将来の子どもたちへ託せるようがんばります。本年もなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

令和5年 1月 6日
葉山町長 山梨 崇仁